

民生委員児童委員の2氏に知事表彰

第14回栃木県民福祉のつどいが9月4日（木）宇都宮市文化会館で行われ、民生委員児童委員の稲葉茂氏と小平新一氏（ともに石橋地区）が12年以上の活動功績が認められ、栃木県知事表彰を受けられました。各委員におかれましては、現在も地域住民の立場にたって相談・援助を行い、社会福祉の増進に尽力されています。



写真右側から稲葉茂氏、小平新一氏

二科会写真部展で二科賞を受賞

第93回二科会写真部展において、緑二丁目在住の岩内忠良さんが、見事、出展作品16,614点の中で第1位となる二科賞を受賞しました。

岩内さんの受賞作品は、「華ごころ」と題し、バラの花をドライフラワーにして撮影した独創的な写真3枚一組で、被写体づくりからプリントまで全て岩内さんが手がけ、初出展での受賞でした。おめでとうございます！



農地・水・環境保全向上対策活動組織の活動瓦版

柴地区環境保全会

9月7日（日）、柴地区環境保全会（会長 早瀬智之氏）では、68名の参加者を得て、第2回目の田んぼまわりの生きもの調査を実施しました。今回は地元住民や育成会保護者、児童をはじめ、国分寺中学生15名も参加し、友愛館周りの水路や柴用水に生息する多くの生きものを採取しました。採取後は大橋講師のもと自然環境保全の大切さをみんなで確認し合うとともに、地域の幅広い年代の方と楽しい交流がもてました。

また、9月28日（日）には東方台地コミュニティ推進協議会との共催事業として、第3回目の共同活動を行いました。当日は早朝から約60名の参加をいただき、コスモスの咲く哲学の道花壇23箇所とイワダレソウやヒガンバナが植えられている柴用水法面の草むしりを行い、地域の環境美化を図りました。

仁良川の里保全会

9月28日（日）、仁良川の里保全会（会長 黒川英代氏）では、自治会、育成会等の協力をいただき、63名の参加のもと第2回目の生きもの調査を実施しました。当日はゲートボール場での開会式後3班に分れ、途中、小水路や田んぼで採取を行いながら移動し、江川では子ども達が川に入り、会員の方に網の使い方を教わりながら、楽しく調査を行いました。また、調査のため堰き止めていた江川用水の堰や放水の様子を見学、黒川会長から農業用施設の役割や大切さについての話がありました。調査後は八木橋講師により参加者全員で取れた生きものや植物の確認を行い、保全会員から昔の魚とりや食べていた魚の話、環境を良くするにはどうしたらいいかなど話し合いをし、地域を見直すよい機会となりました。